2026
月刊

すざかしどうぶつえん

9月号　No.305



スザッチ

9月の休園日：7日（月）、14日（月）、28日（月）

今月のイベント

9月1日（火曜日）～9月27日（日曜日）

秋の企画展 【身近な生き物展】

9月19日（土曜日）、20日（日曜日）、21日（月・祝日）

【ご長寿動物をお祝いしよう】

★おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に来た来園者・70歳以上の方は入園料が無料になります！



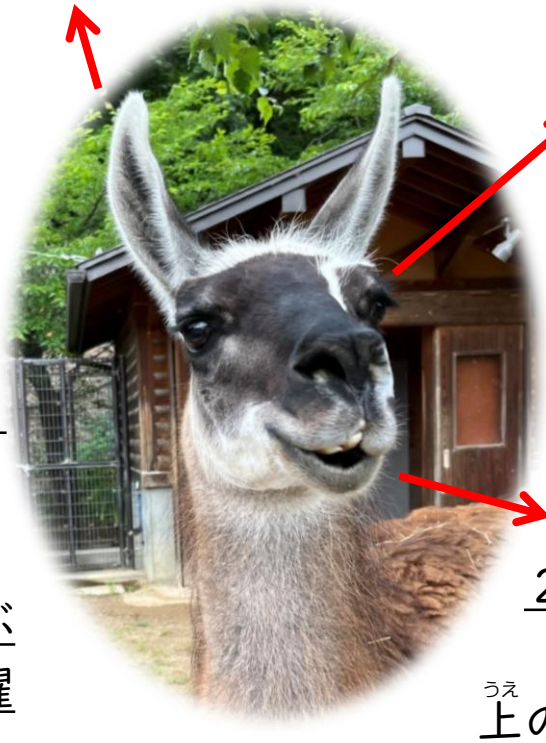
イベントの詳細については
ホームページをみてね！

ラマってどんな動物？



★バナナ型の長い耳

★ラクダの仲間



★長いまつ毛
砂やごみが
目に入るのを
防いでいるよ！



★怒ると耳を後ろに倒して、
ツバ（胃液）を吐く

★上の唇が
２つにぱっくり
割れている
上の前歯はないよ！

★高山で荷物を運ぶ
家畜動物として活躍



【ヒツジの衣替え】

皆さん、ヒツジは世界で1000種類以上もの品種がいるのをご存じですか？
豊富な種類の中で当園ではニュージーランド原産のコリデール種を飼育しています。
コリデール種は毛肉兼用種で羊毛を利用するために改良された品種のため、毛は自然に抜け変わることはなく一生伸び続けてしまいます。そのため、年に1度夏前に人の手で毛刈りをしてあげる必要があります。そうすることで暑い夏でも快適に過ごすことができるというわけです。

当園では毎年ゴールデンウイークに毛刈り体験のイベントを開催し、来園者の皆さんと一緒にヒツジの毛を刈っています。
1頭から約4キロもの毛を取ることができ、毛刈りを終えたヒツジたちは別の動物のような見た目になります。
その後は徐々に毛が伸びていき、また1年後には皆さんのイメージするもこもこな姿へ戻っていきます。



ヒツジの毛刈りは人間が羊毛を利用するためだけの行為に思えますが、ヒツジにとっても健康に暑い夏を乗り切るために欠かせない大切な衣替えの作業なのです。
また、ヒツジ達は毛の長さだけでも全く違った印象になるので、1年を通して定期的に毛の様子を観察しに来てみてください。

ヒツジ担当　松﨑

【オグロプレーリードッグ「おでん」を探せ！】



須坂市動物園の2026年代表動物と言えば…？
そう！オグロプレーリードッグ「おでん」です！
今年一年、須坂市動物園の顔となり、イベントなどで盛り上げ中です。オグロプレーリードッグについて紹介していきます。
生息地は北アメリカの草原地帯に『タウン』という大きな群れを作り生息しています。
地面に穴を掘るため、鋭い爪や危険が迫ると警戒音として「キャンキャン」と犬のように鳴く特徴があります。



そして、当園では14頭のオグロプレーリードッグを飼育しています。
しかし…！「おでん」がどこにいるのか分からないという状況に陥ります。
そこで、「おでん」のみに目印を付けました。
尻尾の付け根付近を見ると、茶色の毛が刈られて十円玉サイズの黒い毛が見えます。それが「おでん」ですよ！よく観察していると、「おでん」は活発で、展示場をあちこちに動き回っています。

オグロプレーリドッグ担当　原田



SUZAKA ZOO 須坂市動物園／臥竜公園管理事務所
TEL 026-245-1770　FAX 026-248-1793